

であいこうか

DEAI 13 KOKA
地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。



料理教室で実演する石川さん(左)

孫の代まで 伝えたい郷土料理 「宇川ずし」

水口の宇川地区に伝わる「宇川ずし」は4月25日の宇川天満宮のお祭りの食卓を彩る郷土料理。石川富美代さんは、嫁いでから30年以上、毎年かさかさず宇川ずしを作っているそうです。

各家庭には代々伝わる木箱があり、お祭りには、早朝から作り始めるといいます。まず、木箱に竹の皮を敷いて、すし飯を薄くならしめます。次にタケノコ・シイタケ・塩ブリなどの具を重ならないように並べます。その上に水口の特産であるカンピョウをまぶし乾燥ゆばを振り掛けて1段のできあがり。石川さんの木箱では一度に6段まで作れるそうです。

の皮は、92歳になるおじいちゃんが夏の間庭で拾ったもの。家族ぐるみで伝統の味を守る気持ちが伝わってきます。「毎年多めに作り、親戚や友人、作り方を問い合わせてください。酢めしなので日持ちもします」と郷土料理を通して多くの出会いがあることも喜びのようです。また、石川さんは、お祭りだけに限らず、日ごろから小学校などに実演に出向き、宇川ずしを伝承しています。

「地元のおいしさが詰まった宇川ずしを、娘や孫の代まで伝えていきたい」と願う石川さんは、2人の娘さんが嫁ぐとき、それぞれに木箱を持たせたとのこと。食文化が大きく変化している今日、ふるさとの味を後世に伝えるため、石川さんは宇川ずしを作り続けます。

春らしい彩りが美しい宇川ずし

火災警報器設置を呼び掛け

～春の火災予防運動～



防火対策を呼び掛ける女性消防隊員

春の火災予防運動期間中の3月3日、JR貴生川駅で街頭啓発が行われました。

昨年発足した女性消防隊員も参加、甲賀市においても平成23年6月から義務づけられる既存住宅での火災警報器の早期設置をPRしました。改札口の前に警報器の見本パネルなどを展示し、駅の利用者に啓発品を配布しながら防火対策を呼び掛けました。

健康な地域づくりの 向上をめざして

健康推進員のつどい

3月5日、かふか生涯学習館で健康推進員のつどいが開催されました。健康推進員は、市民一人ひとりの健康づくり、地域の健康づくりのため、健康教室や啓発活動など様々な活動をされています。この日は、健康推進員の交流を通じ、新たな活動へつなげることを目的に、各専門部の活動発表、展示が行われました。また、財団法人日本食生活協会松谷満子会長を招いての基調講演が行われ、参加の皆さんは、今後の活動への手ごたえをつかまれたようです。



部活動発表で寸劇を熱演

喜びと寂しさ胸に

～市内小中学校で卒業式～



城山中学校の卒業証書授与式

市内の小中学校で卒業式が行われ、小学校では973名の児童が、中学校では、979名の生徒が、喜びと寂しさを胸にそれぞれの学び舎を巣立ちました。

新しい一歩を踏み出す子どもたちは、明日の甲賀市を担う地域の宝物であり、かけがえのない財産です。卒業生の皆さんは、この日の気持ちを忘れることなく、これからも飛躍を遂げる甲賀の地で、健やかにそして元気に育ってほしいです。

新入生が桜を植樹

～鮎河小学校～

鮎河小学校の新1年生が3月8日、土山町大河原の野洲川河川敷で入学記念植樹を行いました。(表紙写真)

植樹は、同校で毎年入学前に行われている伝統行事で、これまで子どもたちの植えた木が川沿いに並んでいます。「毎年花を咲かせ何百年も生き続ける木です。しっかり植えてください」という校長先生のお話の後、保護者やPTA役員、地域の方に手助けしてもらいながら各自1本ずつサクラの木を植えました。最後に自分の名前を書いたプレートをつけ完成。

今年の1年生は全員で5名、その元気な声が学校に響くのも間もなくです。

音楽を通して 人権尊重のハートを見つけよう

人権尊重をめざす市民のつどい



松本さん(左)とアンサンブル・サビーナの皆さん

さまざまな人権問題を自らの課題とし、地域の人権意識を高めようと2月24日、忍の里プラザで「人権尊重をめざす市民のつどい」が開催されました。

今年のつどいは、音楽を通じて人権意識を高めようと開催され、大阪や三重で人権審議会委員を務める松本城洲夫さんのお話とアンサンブル・サビーナによるクラシックコンサートが行われました。

当日は、約200名の方が参加、中嶋市長も開会式で「甲賀市が人間愛のふるさととして根づいていかなければならない」とあいさつ、人権が尊重され、人間愛あふれるまちづくりへの協力をお願いしました。

市内外から力作 第3回甲賀市美術展

第3回甲賀市美術展が3月1日から9日まであいこうか市民ホールと碧水ホールで開催され、力作を見ようと多くの方が訪れました。

立体、書、写真、工芸、平面の5部門に、市内外から248点の応募があり、審査により入選した232作品が展示されました。

各部門の甲賀市長賞は次のとおりです。(敬称略)

- 立体 山際 博一 「春の音」
- 書 村尾 弘美 「漢詩句」
- 写真 村上 重利 「逝く春」
- 工芸 洞 勇同 「麦秋」
- 平面 池本たまき 「春の訪れ」

また、2日に開催されたワークショップ「自然の素材で作ろう!!」には、16人の親子が参加しました。立体部門の実行委員の指導のもと、木の枝や石などを使って、家や恐竜など個性的な作品が出来あがりました。



数多くの力作が並んだ甲賀市美術展